毎日寿心　令和3年4月15日発行　第072号

フォーライフ桃郷便り

発行所
毎日寿心社
世田谷区北烏山7-8-11
TEL03-3300-1600
4月号

※感染症対策は
十分に配慮しております。

職員紹介　Vol. 51

大城　みず浦（おおしろ　みずほ）東3条　介護職員

☆出身は？
東京都

☆年齢は？
29歳

☆介護の仕事を選んだ理由は？
小学生の時にデイサービスにボランティアへ行ったことが
きっかけになり、介護の仕事に就きたいと思っていました。

☆尊敬する人を教えてください。
両親です

☆夢はありますか？
幸せな家庭を築くこと

☆特技はありますか？
スノーボード　・　ソフトテニス

☆ストレス解消の方法はありますか？
撮りだめしていたドラマを一気に観ること

☆応援している「推し」を教えてください。
WANIMA　　Nissy

☆最近、何か良いことありましたか？
ガリガリ君（アイス）を食べて、当たり棒が出たこと！

☆フォーライフ桃郷での目標や感想などありましたらお願いします。
ケアの統一や働きやすい環境作りなど、社員としての自覚を持って
仕事に取り組んでいきたいと思います。

デイサービス　四季の樹&壁絵

みなさんこんにちは！デイサービスの小野です。
デイサービスでは普段の活動で四季の樹作りと壁絵作りをご利用者様と一緒に行っています！コロナで外出が出来ない中、デイサービスのフロアに桜が咲きました！花見もできますよ！

壁絵作り担当：沢辺職員・苅込職員
四季の樹作り担当：篠原職員・見瀧職員

最近嬉しかった話

コロナウイルスが流行り始めてから早くも1年程経ちました。
私たち介護職員も、利用者様に感染させないように日々感染対策に気を付けています。
医療従事者に対して、様々なケアが言われている中つい最近、靴を販売しているORienntal TRafficが医療従事者・介護従事者に対して抽選で靴をプレゼントするという企画をしていました。
あんまりない機会だし、当たればいいなと思い抽選に応募した所、靴が当たりました^^
現場以外の人もちゃんと見て評価してくれているんだと思うと心がほっこりします♪
遠くには出掛けられないのですが、日々靴を履くことで気分が上がります！
また、最近は様々な介護従事者に対してもケアをしている所があります。care forcareworkerプロジェクト実行委員会発起人／株式会社Blanket 代表取締役の秋本可愛さんは「＃ケアワーカーをケアしよう」というプロジェクトをクラウドファンディングで行っていたりしています。こういう活動をしているのを知るだけで頑張る気力に繋がります。

中2条　大澤　菜穂子

新 年 度

新年度がスタートしました。昨年から猛威を振るう新型コロナウイルスの影響で例年とは少し違った新年度のスタートになっているのではないでしょうか。
我が家も産休、育休中であった妻が4月末から病院に復帰することになりました。そのため、次女も4月1日から保育園に通い始めています。初日はずっと泣いていたそうですが、日を重ねるごとに徐々に慣れてきている様子で安心しています。
長女は4月からチアダンスの習い事を始めました。ボンボンを持って踊る姿は可愛過ぎてたまりません。（笑）
そんなわけで、我が家では私以外の3人は新年度から新しいチャレンジを始めています。私も何かチャレンジをしなければと思う今日この頃です。

居宅部門部長　水上　健

施設での行事およびイベント紹介

【2021年4月イベント予定】
4月20日（火）お花見（3条）
4月26日（月）おやつ作りイベント（デイ）

【2021年5月イベント予定】
5月11日（火）、27日（木）おやつ作りイベント（デイ）

※下記行事等の予定は中止
フラワーアレンジメント倶楽部、売店、日曜喫茶

編集後記

桜

施設前の桜も3月末頃に満開になりました。例年であれば家族や友人とお酒でも飲みながら、花見を楽しんでいた時期でしたが、花見すらできない状況になってしまいました。ただそんな状況でも、通勤途中の桜や、家の近所に咲く桜に魅了され、心を癒された方は多いのではないでしょうか。

桜の魅力は花の美しさにあると思いますが、一気に咲いて、一気に散るという儚さや、3月～4月という新生活を迎える時期に咲くことが、何か気持ちを華やかにしてくれているように感じることも魅力なのではないかと思います。

また、桜は花が咲くまでの間に暑い夏に耐え、強い風や厳しい寒さにも耐えています。その美しい花を咲かせるまでにたくさんの困難な状況を乗り越えています。だからこそ花を咲かせた時の魅力も大きいのではないでしょうか。人間も同じで、多くの苦労を経験しないと、魅力的な人間になることはできないと思います。

「桜のような人間になりたい」毎年この時期にはそう思っています。

編集長　水上　健